

令和元年度 教育課程編成・実施についての自己評価

飯塚市立八木山小学校

評価基準		評価 令和元年度 1学期		評価 令和元年度 2学期		評価 令和元年度 3学期		差	H30 3学期
区分	評価項目	平均(A)	%	平均(A)	%	平均(A)	%		
教務	1 教育指導計画書に沿った教育課程が確実に実施できている。	● 2.5	83.3	● 2.3	75.0	● 2.3	77.8	-1.4	79.2
	2 学力や体力向上プランに示している教育活動が実施できている。	● 2.3	76.2	● 2.5	83.3	● 2.4	79.2	3.0	76.2
教科	3 基礎的・基本的な内容の確実な習熟や定着を図っている。	● 2.5	83.3	● 2.7	90.5	● 2.6	85.7	0.0	85.7
	4 自ら進んで学習に取り組む意欲や態度を育成している。	● 2.0	66.7	● 2.4	81.0	● 2.1	71.4	-9.6	81.0
	5 活用する力の育成を図るための授業改善に取り組んでいる。	● 1.9	62.5	● 2.2	72.2	● 2.3	77.8	11.1	66.7
道徳 人権	6 道徳の時間を確保し、他教科との関連を図りながら指導の工夫を行っている。	● 2.2	72.2	● 2.3	77.8	● 2.4	80.0	2.2	77.8
	7 児童の実態に応じて「わたしたちの道徳」や「あおぞら」等を活用している。	● 1.8	61.1	● 2.0	66.7	● 2.7	88.9	33.3	55.6
	8 自他の生命や人格を尊重し、みんなと協力してともに伸びていく児童を育成している。	● 2.4	79.2	● 2.6	87.5	● 2.8	92.6	9.3	83.3
特活	9 児童の主体的な活動を計画的に取り入れている。	● 2.0	66.7	● 2.0	66.7	● 2.2	74.1	7.4	66.7
	10 クラブ・委員会活動では、児童の意欲を高め楽しく活動できるように指導している。	● 2.4	79.2	● 2.3	76.2	● 2.6	85.2	6.0	79.2
総合的な 学習	11 探求的な学習や体験学習等を通して、自ら学び、自ら考える力を育成している。	● 2.5	83.3	● 2.7	88.9	● 2.6	85.7	23.8	61.9
	12 地域の教育資源(ひと、もの、こと)の積極的な活用ができています。	● 3.0	100.0	● 2.7	90.5	● 2.8	92.6	-7.4	100.0
生徒指導	13 ルールを守る指導やマナーを向上させる指導の充実を図っている。	● 2.7	88.9	● 2.4	81.5	● 2.2	74.1	-5.1	79.2
	14 いじめ・不登校・問題行動等への対応を速やかに行っている。	● 2.6	85.2	● 2.3	77.8	● 2.4	81.5	-1.8	83.3
	15 教育相談等を通して、児童理解を深めている。	● 2.4	79.2	● 2.5	83.3	● 2.6	87.5	4.2	83.3
	16 日常的な家庭連絡や家庭訪問等を通して、家庭との連携を図っている。	● 2.3	76.2	● 2.6	85.7	● 2.7	90.5	4.8	85.7
研修	17 研究主題に沿った校内研修や一般研修を計画的に行っている。	● 2.3	76.2	● 2.5	83.3	● 2.7	88.9	-6.9	95.8
	18 全学級で研究授業を行い、研修の成果を日常の教育実践に生かしている。	● 2.4	81.0	● 2.5	83.3	● 2.6	87.5	-4.2	91.7
健康 安全	19 「学校安全の日」等の機会をとらえ、安全指導の徹底を図っている。	● 2.3	75.0	● 2.4	79.2	● 2.3	77.8	-1.4	79.2
	20 「いきいきチェック表」の活用等を通して、自ら進んで健康的な生活ができる児童を育成している。	● 2.4	81.0	● 2.7	88.9	● 2.4	79.2	-11.3	90.5
特別支援	21 特別支援教育について、研修等を通して全職員の共通理解を図っている。	● 2.5	83.3	● 2.9	96.7	● 2.9	96.7	9.2	87.5
	22 一人ひとりの教育的ニーズを把握し、特別支援教育の視点に立った指導ができています。	● 2.6	87.5	● 2.4	80.0	● 2.6	86.7	7.5	79.2
学習環境	23 教材・教具を整理、整頓し、計画的に活用している。	● 2.3	76.7	● 2.1	71.4	● 2.3	75.0	-4.2	79.2
	24 学校全体で清掃活動に取り組み、学校がきちんと整備できている。	● 2.5	83.3	● 2.2	73.3	● 2.5	83.3	-12.5	95.8
文化	25 図書館教育を積極的に推進している。	● 1.9	63.0	● 2.1	70.4	● 2.2	74.1	0.0	74.1
	26 文化的行事や活動を積極的に取り入れている。	● 2.2	74.1	● 2.6	86.7	● 2.6	86.7	-9.6	96.3
事務	27 学校・学年・学級の事務、庶務、経理が適切に処理できている。	● 2.4	81.5	● 2.4	81.5	● 2.4	80.0	-16.3	96.3
	28 学校・学年・学級の教具、備品、物品が適正に保管できている。	● 2.4	80.0	● 2.6	85.2	● 2.3	76.7	-1.1	77.8
	29 公文書、指導要録、各種検査テスト結果等を、厳正に金庫等に保管できている。	● 2.8	92.6	● 2.8	92.6	● 2.5	83.3	-9.3	92.6
地域連携	30 校区内の保幼小中と積極的に連携を図っている。	● 2.0	66.7	● 2.5	83.3	● 2.4	79.2	4.2	75.0
	31 関係機関(自治会、公民館、野鳥の会、PTA同窓会、獅子舞保存会など)と進んで連携を図っている。	● 2.9	96.3	● 2.7	88.9	● 2.8	93.3	-6.7	100.0
	32 授業参観や各行事等を通して、積極的に学校の取組を地域に発信している。	● 2.5	83.3	● 2.7	88.9	● 2.8	93.3	-2.5	95.8
個人平均		● 2.37	78.9	● 2.45	81.8	● 2.50	83.3	0.4	82.9

A=3 ●

3>A≥2 ●

2>A≥1 ●

1>A≥0 ●

H30 1学期	● 2.29	H30 2学期	● 2.37	H30 3学期	● 2.49
------------	--------	------------	--------	------------	--------

令和元年度 教育課程編成・実施についての自己評価(1・2・3学期)についての考察

区分	1・2・3学期の評価を比較しての考察	
教務	1	○ 「教育指導計画書に沿った教育課程が確実に実施できている。」が-1.4%下降しているが、ほぼ実施できている。 教育指導計画書の学力向上プランや体力向上プランをもとに、計画的、継続的な取組が実施できている。標準学力検査NRT(・CRT)の結果は、全国平均を上回っている状況であるが、全国学力・学習状況調査は下回っているため、基礎学力の定着を図る必要がある。
	2	○ (標準学力検査NRT(4/24・25) 102.6(全国を100としたとき、昨年99.6)、2～6年生) (国語103、算数102.2) (標準学力検査CRT(1/23・24) 採点中 (全国を100としたとき、昨年 95.8)、1～6年生) (国語 採点中、算数 採点中)
教科	3	○ 朝のチャレンジタイムや授業実践で、基礎的・基本的な学習内容の確実な習熟や定着を図っている。
	4	● 自ら進んで学習に取り組む意欲や態度に個人差があり、まだ十分に育成できていない児童もいる。
	5	◎ 活用する力の育成に向けた授業改善は昨年度より進んでおり活用できている。(66.7%→77.8%) 「わたり」授業や「ずらし」授業の充実が、今後も授業改善の重要なポイントであると考えられる。
道徳 人権	6	○ 道徳については、昨年より評価が2.2%上がっており、今後も他教科との関連を図りながら、指導の工夫を図っていく必要がある。
	7	◎ 「わたしたちの道徳」や「あおぞら」等の活用が昨年度より33.3%上がっており、児童の実態を把握し教科としての道徳の充実を図ってきた成果があらわれた。
	8	○ 人権学習などにより、自他の生命や人格を尊重し、協力して伸びようとする児童の育成が進んでいる。
特活	9	○ 児童会活動などを積極的に行わせてきているが、昨年より7.4%上がっており、子どもの主体的な活動になっている。
	10	○ 昨年より6.0%上がり、クラブ・委員会活動では、児童の意欲を高めることができおり、楽しく活動している。
総合的 な学習	11	◎ 探究的な学習や体験学習等を通して、自ら学び、自ら考える力を育成してきたが、3学期は、85.7%と23.8%も上がっている。昨年度より、自ら学び、自ら考える力を育成できている。さらに、今後は意欲や思考力をより高めていく必要がある。
	12	◎ 昨年度より7.4%下がっているが、八木山地区の教育資源(ひと、もの、こと)を十分に活用できている。
生徒 指導	13	● ルールを守る指導やマナーを向上させる指導は、5.1%下がっており、十分に定着できていない。
	14	○ いじめ・不登校・問題行動等への対応を速やかに行うことができている。
	15 16	○ 昨年度より4.2%、4.8%と上がっており、少人数を生かして、教育相談や家庭連絡、家庭訪問を行いながら、児童理解を深め、家庭と連携した取組ができている。
研修	17 18	◎ 昨年度より協調学習やプログラミング学習の授業について、研修が進んできている。研究授業を行い、教員の授業力が徐々に向上してきているが、「わたり」授業や「ずらし」授業について、本年度は確認が十分とは言えない。今後も、児童が自ら学習を進めていく力を育成するために、間接指導や知識構成型ジグソー法による協調学習を推進していく必要がある。
	19	○ 安全指導については、飯塚警察署からも、見守りに来ていただいている。十分に危機感を持たせていないところがあるので、日頃から危機意識を高めていく必要がある。(避難訓練・交通安全教室など)
健康 安全	20	● 保健指導については、マンネリ化があり昨年より下がっているため、生活の基礎づくりのために「いきいきチェック表」を改善して取組を継続し、今後も健康への意識をより高めていく必要がある。
	21	◎ 特別支援教育については、昨年度より9.2%評価が上がっている。今後も全体での研修を計画的に実施し、共通理解を図っていく必要がある。
特別 支援	22	◎ 児童や保護者の個別の教育的ニーズを十分に理解して、関係機関等との連携を図ることができている。今後も特別支援教育の視点に立った指導ができるように、研修を進めていく必要がある。
	23	○ 今後も教材・教具を整理、整頓し、計画的な活用を進めていく必要がある。
学習 環境	24	● 学校全体の清掃活動に縦割り班で取り組み、高学年の児童が中心となって、目標を立てたり、反省をきちんとしたりしているが、昨年より12.5%も下がっているため、改善していきたい。
	25	○ 図書館は予算も取れてさらに蔵書も充実してきている。保護者の読み聞かせなどにも積極的に取り組んでいる。今後も、読解力を高めるために重点的に取り組む必要がある。
文化	26	○ 昨年と横ばいであるが、伝統・文化的行事にも積極的に取り組むことができている。(獅子舞、横笛、茶道)
	27	○ 昨年より16.3%も下がっているが、事務・庶務・経理が適切に行われている。
事務	28	○ 教具・備品・物品の保管が行き届いてない。日々の業務に追われ、使用した後の片付けがおろそかになっているため、定期的に整理していく必要がある。
	29	○ 公文書、指導要録、各種検査テスト結果等は、確実に金庫等に保管できているため、年度末に向けても確実に整理し、保管していく必要がある。
	30	○ 保幼小中との連携については、校区教務主任会も始まり4.2%上がっているため、連携できつつある。小中一貫校も3年目を迎えるため、キャリア教育を中心に連携の強化を図っていく必要がある。
地域 連携	31	○ 八木山地区や関係機関との連携は深まってきており、授業参観や各学校行事を通して、その取組や成果を発信できている。今後も学校だよりやホームページの内容を充実させ、特認制による入学や転入を増やしていく必要がある。
	32	○ 八木山地区や関係機関との連携は深まってきており、授業参観や各学校行事を通して、その取組や成果を発信できている。今後も学校だよりやホームページの内容を充実させ、特認制による入学や転入を増やしていく必要がある。

※ 昨年度の3学期の総合評価は2.49(83%)であったが、今年度の3学期は2.50(83.3%)と少し上がっている。授業改善や道徳教育、特別支援教育、道徳教育や人権教育などでは成果がみられたが、全体的には、32項目中、13項目でしか上昇していない。下がった項目については、2020年の教育指導計画の作成に向けて、具体策を示していく必要がある。特に、学びに向かう力、防災教育やキャリア教育、総合的な学習の時間、健康安全教育、清掃活動、備品の整備などについては、今年度の反省をもとに改善していかなければならない。10%以上上昇している項目が3項目、10%以上下がっている項目が3項目あり、全体としては、0.4%上がっている。全体評価が83.3%と高いので、今後は質を下げないようにして、重点化した改善を行っていく必要がある。